

活動団体： NPO 法人日本国際ボランティアセンター

～問題の根本にこだわる～

団体の活動



日本国際ボランティアセンター

JVC はあらゆる人々が自然と共存し、安心してともに生きられる社会をめざし、1)自然資源の保全と住民主権の尊重、2)公正な社会の実現と権利の回復、3)違いを認め合う共生社会の実現、4)政策提言による社会の変革をミッションとして活動しています。現在はラオス、南アフリカ、パレスチナ、スーダン/南スーダン、コリアで活動を実施しています。

<https://www.ngo-jvc.net/>



コミュニティ林の設置式典(ラオス)



支援を受け取った学生たち(スーダン)

インターンプロフィール

後藤 美紀



小学生の頃にマザーテレサの伝記を読み、国際協力に関心をもつ。大学卒業後は一般企業と在日イエメン共和国大使館での勤務を経て、自分が主体的に支援活動に携わりたいという思いが強くなり、2022年5月、JVCへ入職。

所属団体で活動するきっかけ

パレスチナが壁で分断されているのを現地で目の当たりにした際、問題の核心が見えるまでとことん向き合いたいと思いました。そこで JVC のポリシーの1つである「問題の根本にこだわる」に共感し応募しました。

どのような業務(活動)をおこなっているか

ラオス事業(地域開発)とスーダン事業(人道・教育支援)を担当しています。主に支援者対応として事業の活動を支援して下さる個人寄付者へのお礼状の送付、助成金の申請書や報告書の作成および会計管理をしています。また、広報とも協力し現地の活動について SNS などでの情報発信も行っています。

スキルアップのためにしていること

知識や見聞を広げるためにセミナーや勉強会へ積極的に参加したり、国際情勢、歴史に関わる本や記事、映画を見るようにしています。また、業務に従事するために必要な会計やプロジェクト評価などを勉強しています。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

ラオスのセコン県にて行っている共有資源管理支援を通じた環境保全プロジェクトの活動地視察や活動状況のモニタリングの他、次年度の活動や予算の計画について話し合いなどを行う予定です。

今後のビジョンは？

現地での活動が円滑に行えることを第一に自分の業務・役割を理解し遂行していきます。現地への出張を含め、評価活動などの貴重な機会を得た経験、知識を活動にしっかり還元していけるようになりたいと思っています。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

最初は自分にとって国際協力は手の届かないもののように思っていましたが、諦めずボランティアなどできることから一步步踏み出していきました。自分の軸を信じて行動に移せば必ず目指しているものに繋がります。

団体アピール

JVC は1980年に設立され、2022年で42年目を迎えます。差別、分断、抑圧といった構造的な暴力の中で困難な境遇に置かれた人々に寄り添い、みずから立ち上がろうとする人々と手を携え活動を続けています。